

## ☆ 総長来所 ☆

4月22日(金)大河内総長が生産技術研究所に来所、各部の代表者から2時間半にわたって代表的研究について聴取し、ついで第2会議室にて教官と懇談会に入った。総長は研究所の重要性、研究所が大学院教育を分担することの意義について話された。

## ☆ ソ連化学工業代表来所 ☆

5月16日(月)ソ連化学工業代表 Igor V. Kalechits 氏(ソ連邦閣僚会議科学技術国家委員会化学部長)はじめつぎの4名の方々が来所。

- Izmail V. Garmonov (全合成ゴム研究所長)
- Viktor G. Zhiryakov (ソ連邦化学工業省技術局長)
- Anatlij F. Nikolaev (国立重合プラスチック研究所長)
- Vera A. Khodakovskaya (ソ連邦石油精製・石油化学省部長)

岡本所長より生研の組織、工業界との連絡状況などに

ついて聴取。化学系の代表者であるから第4部菊池、浅原、雀部、山辺、野崎各教授、河添、早野助教授、平野研究嘱託などが出席、以後2組に分れて研究室の一部を見学し、竜土軒にて生研教官の一部と会食した。非常に熱心に質問し、とくに生研における特許の有無について聞かれた。

## ☆ 日米工学教育会議アメリカ代表来所 ☆

5月20日(金)古賀東大名誉教授に伴われて日米工学教育会議のアメリカの代表のつぎの方々来所。

- George E. Moore (ブルックリン工科大学副学長)
- George D. Lobinger (ウエスチングハウス教育部長)
- Kurt F. Wendt (ウィスコンシン大学工学部長)
- Arther W. Weber (コーニングガラス会社副社長)
- S. B. Ingram (ベルテレフォン技術人事部長)

岡本所長、菊池、平尾教授が対応したが、時間がないので、岡本所長の研究室を案内したのち、つぎの予定のソニーへ向った。

### 表 紙

$FeCl_2 \cdot nH_2O$ ,  $Fe_2O_3$  を原料として、 $H_2$  ガスにより還元製造した鉄の「せんい状微小単結晶」Whiskers の写真であり、中には理論的最大強度に近い値を示すものもある (本文 8~14 ページ参照)。

### 研究解説

不安定リンク機構の姿勢制御	村 上 公 克	1
鉄鉱石の還元について	雀 部 高明 大江 房光 吉 越 英 福 永 弘 一	8
マトリクス変位法による骨組の解析 ——その(2) 分割解法と立体構造への拡張——	川 股 重 也	15
平面応力問題について	坪 井 善 勝 川 股 重 也 塩 屋 繁 松	22

### 研究速報

レーザ用光検波光電子増倍管の特性	藤 井 陽 一 魚 谷 裕 士	27
Al-Zn 拡散対の侵入曲線にあらわれた tail	武 田 鉄 治 本 色 貞 文 一 本 禎 一	29
白金電極を用いる光起電力の研究	本 多 健 一 菊 池 隆 一 由 良 隆 司	31